

和光大学通信 '00.10.25 No.99

●大学がなくなる？募対プロジェクト・チームからの報告とお願い ●表現文化学科シンポジウム＝表現の
手前にあるもの ●芸術学科公開講座＝版画商から見た良い映画 ●教員のうごき ●進路指導スケジュール ●
2001年度入試日程 ●日本育英会奨学金 ●2000年度和光大学予算書・1999年度和光大学決算概要 ●

大学がなくなる？ 募対プロジェクト・チームからの報告とお願い

今年6月に「募対プロジェクト・チーム」を発足させました。チームは学長をトップに、各学部から1名ずつ計3名の教員、事務局長、総務課長、開放係長の総計6名のスタッフによって編成されています。ちなみに「募対」（＝募集対策事業）とは、どうすれば受験者を確保・拡大することができるか、その方策を追求することを言います。

大学の「冬の時代」という言葉がささやかにはじめて、もう何年にもなります。大学進学率が長年にわたる不況のために伸び悩んでいる上に、18歳人口の急激な落ち込みによって、定員確保が難しくなっているからです。現に、私立学校振興・共済事業団の補助金の交付状況によれば、99年度に在籍人数が収容定員の50パーセント以下の大学・短大は54校（大学42校・短大44校のうち）に上っています。

和光大学でもよそことではありませぬ。80年代後半から90年代初頭にかけて2万人を超えた受験者数は、その後伸び悩みの

傾向を見せ、2000年度には4千人弱にまで後退しているからです。もっとも、この数字は旧に復しただけで、80年代後半の天文学的数値こそがバブルなのだ、という見方がないわけではありません。また真の意味での募対が、教育・研究活動の日常のかつ不断の研鑽や発信にあることは言うまでもありません。



今年7月に開催された和光大学受験生ガイダンス

あるものとして評価してくれることこそが、なにもものにも代え難い募対だというわけです。そのために、経済学部の改組、人間関係学部の増設、表現学部の開設など新しい教育・研究状況への対応に、また新A棟の建設、メディア工房の新設等の施設の充実に努めてきました。

しかし、今のような減少傾向が続けば、近いうちに和光大学も定員確保が難しくなるのではないかと、という見通しが企画室から提示されました。そうであるから、私立大学が経営の基盤の大方を学生納付金に依存している現状からも、ある程度の受験者倍率の確保は大学の経営上の問題をクリアし、学生の質を保持する上で不可欠な条件だ、という要請も提示されました。在籍人数が収容定員を割り込む事態は、何としても避けなければなりません。そうした見通しと要請のもとに、初めに掲げた「募対プロジェクト」は発足したわけです。

まず、真の募対が教育・研究活動の不断の研鑽や発信にあることばさきにも述べました。そして、そのことについては、リクルートの「満足度調査」の多くの項目で高いランクにあることが示すように、教職員も学生たちが学生生活を充実した、実りあるものとして過ごしてくるための努力を惜しんではおりません。にもかかわらず、和光大学の知名度が落ちる傾向にあるからです。そのことはとりもなおさず、和光の知名度をあげるためには日常的な努力とは異なった手法が必要とされているということです。その手ははじめとしては、受験雑誌や大新聞をはじめとする種々のメディアに広告・宣伝のために大量の資金を投入することが考えられます。そうは言っても、和光規模の大学では広告・宣伝に多くの資金を割くことができません。割いたとしても、マンモス大学には到底太刀打ちできません。募対プロジェクトは当初から困難な課題に直面していると述べたのはこここのところをさします。

6月以降、募財プロジェクトでは小田急線窓上広告や小田急線路ぞいの横断幕の設置等の機会を増やすとともに、卒業生との懇談会などを設けてその組織化を急いでいます。また、社会の各方面から寄せられる進路指導強化の要請についても模索を開始しています。さらには、今後の課題として在学生の父母の方々の協力を仰げないものか、その方途を探っています。

しかし、何にもまして大事なことは、大学構成員(学生・教員・職員)一人ひとりが、ひいては卒業生、父母の方々をも含めて、和光大学が現在置かれて

いる危機状況を共有することだと認識しています。「和光大学がなくなる？」と、ほんの少しだけでも立ち止まって考えていただければと願っています。「ダイヤモンドの輝き」を放つ和光大学が「大学淘汰」の波のなかに飲み込まれてしまふことの不毛を反芻していただきたいのです。こうした危機意識を共有することによってはじめて、なにことが始まるでしょう。

最後に、和光大学を世間に向かって押し出していくための種々のアイデアをお寄せくださるよう、各方面にお願いしてやみません。(文)塩崎文雄・教授

ひらかれます

●シンポジウムⅡ表現の手にあるもの

日時 11月8日(水)15時
場所 D306
パネリスト
押井 守(映画監督)

T S U Y O S H I (DJ)
司会 上野俊哉(表現文化学科助教授)

主催 表現文化学科
●公開講座Ⅱ版画家から見た良
い版画

日時 11月16日(木)15時
場所 H106

講師 綿貫不二夫
主催 芸術学科

教員のうごき

●千野榮一学長にチエコ共和国から国家功労章

チエコの文化・文学の日本への紹介等、永年の労に対し、チエコ共和国より千野学長に、国家功労章が授与されることになりました。授与は10月28日の同建国記念日にプラハ城でおこなわれる予定です。

●役職(00・10・1)
人文学部長
前田耕作・イメージ文化学科教授

図書館長
植村 洋・文学科教授

経営学科長
上野哲郎・経営学科教授

2001年度入試日程

特別選考制	出願期間	選考日	合格発表
学科 全学科とも	10/25(水)~11/8(水)	11/19日	11/27日
●推薦制	出願期間	選考日	合格発表
学科 全学科とも	11/1(水)~11/10(金)	11/20日・21日	11/27日
●一般入試(人間関係学部・表現学部)・一般入試A(経済学部)	出願期間	選考日	合格発表
学科	1/6(土)~1/25(木)	2/10(土)	2/17(土)
人間関係学部		2/12日	2/17(土)
人間発達学部		2/8(木)	2/15(木)
文学科		2/10(土)	2/17(土)
表現文化学科		2/12日	2/17(土)
芸術学科		2/9(金)	2/15(木)
イメージ文化学科		2/9(金)	2/14(水)
経済学科		2/8(木)	
経営学科			
●一般入試B(経済学部)	出願期間	選考日	合格発表
学科	2/13(火)~2/23(金)	3/5(日)	3/10(土)
経済学科		3/6(火)	
●表現入試(表現学部)	出願期間	選考日	合格発表
学科	2/22(水)~3/2(金)	3/12(日)	3/15(木)
全学科とも			
●編入学A	出願期間	選考日	合格発表
学部	10/25(水)~11/8(水)	11/22(水)	11/27(日)
人間関係学部/経済学部			
●編入学B	出願期間	選考日	合格発表
学部	1/6(土)~1/25(木)	2/11(日)	2/17(土)
人間関係学部			2/14(水)
経済学部			
●転部転科入試(表現文化学科は募集しない)	出願期間	選考日	合格発表
学部	1/6(土)~1/25(木)	2/11(日)	2/17(土)
人間関係学部			2/15(木)
表現学部			2/14(水)
経済学部			
●専攻科入試	出願期間	選考日	合格発表
専攻	1/6(土)~1/25(木)	2/10(土)	2/17(土)
現代人間研究専攻			2/15(木)
文学専攻/芸術学専攻			2/14(水)
経済学専攻/経営学専攻			

本

教務部長
伊東達夫・経済学科教授
●育児休業(01・3・31)
常田秀子・人間発達学科講師

●植民地人類学の展望
中野勝美(人間関係学科助教授) 編
日本民族学の出目をファイル
下から問い、その「植民地主義」
の自画像を描く。欧米の視点から
離れ、「日本のオリエンタリズム」
を検証批判する試み。(00年
8月 風響社 2500円)

●俳句の論 古典と現代
佐伯昭市 著
卒業生が中心になってまとめた
故佐伯名譽教授の論文集。「遺

形俳句論」をはじめとする近現代
俳句への論考などを収録。(00
年10月 佐伯昭市論文刊行会
10000円)

進路指導課

●進路スケジュール
●11月15日(水) 就職講座「自己
分析と自己表現」(3年生)

●11月17日(金) 公務員志望者方
イダンス(1~3年生)
●11月25日(土)・28日(火) 職業適
性検査・SPI対策講座(3年
生)

●11月29日(水) 就職講座「就職
と資格」(1~3年生)

●12月5日(火) エントリーシー
ト模擬試験(3年生)

●12月6日(水) 職種・業種研究
「営業職」(1~3年生)
●12月7日(木) 職種・業種研究
「福祉職」(1~3年生)
●12月8日(金) 職種・業種研究
「マスコミ業界」(1~3年生)
●12月13日(水) 職種・業種研究
「金融業界」(1~3年生)
●12月14日(木) 職種・業種研究
「金銭業界」(1~3年生)
●12月15日(金) 職種・業種研究
「流通業界」(1~3年生)

学生生活課

●日本育英会奨学生のみなさんへ
☆「継続願」の提出を
現在、配布中ですが、提出締
切は10月28日(土)です。対象者は

2000年度和光大学予算書

科 目	収入の部		支出の部	
	本年度予算	前年度決算	本年度予算	前年度決算
学生納付金収入	3,475,150	3,268,022	人件費支出	2,648,307
手数料収入	122,635	82,933	教育研究経費支出	731,203
寄付金収入	60,000	117,301	管理経費支出	166,434
補助金収入	220,664	252,731	借入金等利息支出	14,682
資産運用収入	14,159	11,323	借入金等返済支出	98,940
事業収入	25,706	24,856	施設関係支出	333,022
雑収入	56,389	34,280	設備関係支出	149,969
借入金等収入	0	0	資産運用支出	460,000
前受金収入	1,397,838	1,104,688	その他の支出	237,296
その他の収入	72,386	192,759	資金支出調整勘定	△183,355
資金収入調整勘定	△1,149,088	△1,531,938	次年度繰越支払資金	1,401,398
前年度繰越支払資金	1,962,999	3,407,607	学园内調整勘定	200,942
学园内調整勘定	0	0	支出の部合計	6,258,838
収入の部合計	6,258,838	6,964,562		6,964,562

1999年度和光大学決算概要

科 目	収入の部		支出の部	
	決 算	構成比率(%)	決 算	構成比率(%)
学生納付金収入	3,268,022	46.9	人件費支出	2,475,912
手数料収入	82,933	1.2	教育研究経費支出	519,859
寄付金収入	117,301	1.7	管理経費支出	148,020
補助金収入	252,731	3.6	借入金等利息支出	27,189
資産運用収入	11,323	0.2	借入金等返済支出	99,940
事業収入	24,856	0.3	施設関係支出	992,572
雑収入	34,280	0.5	設備関係支出	168,104
借入金等収入	0	0.0	資産運用支出	461,500
前受金収入	1,104,688	15.9	その他の支出	113,710
その他の収入	192,759	2.8	資金支出調整勘定	△193,304
資金収入調整勘定	△1,531,938	△22.0	次年度繰越支払資金	1,962,999
前年度繰越支払資金	3,407,607	48.9	学园内調整勘定	188,061
学园内調整勘定	0	0.0	支出の部合計	6,964,562
収入の部合計	6,964,562	100.0		100.0

科 目	収入の部		支出の部	
	決 算	構成比率(%)	決 算	構成比率(%)
学生納付金	3,268,022	85.7	人件費	2,462,512
手数料	82,933	2.2	教育研究経費	639,934
寄付金	137,281	3.6	管理経費	155,981
補助金	252,731	6.6	借入金等利息	27,188
資産運用収入	11,323	0.3	資産処分差額	32,309
事業収入	24,856	0.7	徴収不能額	0
雑収入	34,280	0.9	学园内調整勘定	188,061
学园内調整勘定	0	0.0	消費支出の部合計	3,505,985
帰属収入合計	3,811,426	100.0	当年度消費支出超過額	846,980
基本金組入額合計	△1,152,421		翌年度繰越消費支出超過額	459,544
消費収入の部合計	2,659,005			

- この決算書は、資金収支計算書から資産科目・負債科目を除いたもので、企業会計の損益計算に相当する。
- 現物寄付金、退職給与引当金、減価償却費等、資金の収支にかかわらないものが含まれるので、資金収支計算書と金額の異なる科目がある。

科 目	資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
固定資産	9,357,321	82.4	固定負債	2,113,861
有形固定資産	6,453,931	56.8	長期借入金・長期学校債	
土地・建物・構築物			退職給与引当金	
備品・図書・車両			流動負債	1,395,357
その他の固定資産	2,903,390	25.6	短期借入金・短期学校債	
電話加入権			未払金・未払利息	
施設設備引当特定預金			前受金・預り金	
第3号基本金引当資金			学园内調整仮受金	64,191
学生厚生費引当特定預金			負債の部計	3,573,409
退職給与引当特定預金			基本金	8,243,729
減価償却引当特定預金			消費収支差額	
紀要出版引当特定預金			翌年度繰越消費支出超過額	459,544
奨学貸付金			負債・基本金及び消費収支差額の部合計	11,357,594
流動資産	1,994,944	17.6		100.0
現金預金・未収入金				
前払金・仮払金	5,329	0.0		
学园内調整仮払金				
資産の部合計	11,357,594	100.0		

- 資産総額は113億円強となり、うち正味資産は77億円強となった。

00年度採用の「第1種奨学生」と「きぼう21奨学生」
 ☆受領資格確認を
 11月の受領資格確認期間は、
 11月6日(月)～11月18日(土)です。
 奨学生手帳 印鑑を持参のこと。

対象者は「第1種奨学生(99年度以前の採用資主員)」と「第2種奨学生」。
 ●医務室に自動血圧計を設置
 病院の待合室などにあるのを見かけた方もあるでしょうが、

自分で簡単に測定できますので、ご利用ください。
 ●日赤救急救命法講習会を開催
 9月26日、鶴川消防署の救急救命士を講師に日赤救急救命法の講習会を開催しました。朝9

時から3時間の講習に4名が参加、真剣に講習を受けました。
ひらかれました
 ●和光大学モンゴル祭り
 日時 10月21日(土)10時～18時

プロクラム モンゴル映画上映会(伝統料理(付付き羊肉の塩ゆで)で楽しむ昼食会/伝統音楽を楽しむ会)ブフ(モンゴル相撲)大会
 主催 アジア研究・交流フォーラム

CALENDAR

11月

1 水	推薦制入試願書受付 (～11/10)
2 木	午後休講
3 金	文化の日、大学祭
4 土	大学祭、図書館休館
5 日	大学祭
6 月	午前休講 日本育英会奨学金受領資格確認 (～11/18)
7 火	
8 水	表現文化学科シンポジウム「表現の手にあるもの」 特別選考制・編入学A入試願書受付締切
9 木	
10 金	和光学園創立記念日 (休校)
11 土	
12 日	
13 月	
14 火	
15 水	就職講座
16 木	芸術学科公開講座「版画商から見た良い版画」
17 金	公務員志望者ガイダンス
18 土	
19 日	特別選考制入試
20 月	推薦制入試、図書館休館
21 火	推薦制入試、図書館休館
22 水	編入学A入試、図書館休館
23 木	勤労感謝の日
24 金	
25 土	職業適性検査・SPI対策講座
26 日	
27 月	特別選考制・推薦制・編入学A入試合格発表
28 火	職業適性検査・SPI対策講座
29 水	就職講座
30 木	

12月

1 金	和光松本塾
2 土	和光松本塾
3 日	和光松本塾
4 月	
5 火	エントリーシート模擬試験
6 水	職種・業種研究 (営業職)
7 木	職種・業種研究 (福祉職)
8 金	職種・業種研究 (マスコミ業界)
9 土	学生研究助成金受給者研究報告会
10 日	
11 月	
12 火	
13 水	人間関係学部卒論仮題目届提出期限 職種・業種研究 (情報業界)
14 木	職種・業種研究 (金融業界)
15 金	文学科卒論提出期限 職種・業種研究 (流通業界)
16 土	集中講義 (～12/22)
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	人間関係・人間発達学科卒論提出期限 芸術学科卒論・卒制提出期限
21 木	
22 金	
23 土	天皇誕生日
24 日	
25 月	冬期休業 (～1/8)
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	
31 日	

図書館

●カウンター内を模様替え

AVブースや検索用パソコンの利用が増加しているため、カウンター内の配置を模様替えしました。

●各種の図書館施設の利用受付 (AV関係、検索用パソコン、共同研究室、点字パソコン室など) は、これまで主にレファレンスを受け付けていたコーナーで行います。ここでは本の貸出・返

却は行いません。レファレンスや図書館利用についての様々な質問・ご相談はカウンター中央部分で受け付けます。

●ゼミ対象の検索講習会を企画
ゼミ担当の先生方にはすでにご案内しましたが、卒論の仕上げに役立つ情報検索や効率的な文献の入手方法などについて、ゼミごとに図書館員がレクチャーする講習会を企画しました。ゼミごとにお申込みください。また、1月の学年末試験終了

には主に3年次生を対象として、卒論準備のための情報検索講習会を予定しています。

くわしくはポスターなどをご覧ください。

●新しく入ったCD-ROM紹介

☆沖縄戦全資料「写真・記録」
戦時下各部隊が作成した「陣中日誌」「戦闘詳報」「命令」などの戦時文書や、終戦直後に復員局などが作成した「帰還兵のアンケート調査」などの戦後文書と、沖縄戦に参戦した米軍の

従軍カメラマンが撮影した写真 (アメリカ公文書館に収録されている沖縄戦関係の写真で確認できたものすべて) を収録。文書は部隊名やフリーキーワードで検索が可能。写真は地名や撮影年月別にも検索可能。

☆源氏物語 (絵入り) 承応版本
国文学研究資料館データヘイス古典セレクション
テキストデータは、本文領域 (作品本文)、標準領域 (歴史的背景名遣いの標記)、注記領域 (傍

記等の注書き、メモ領域 (他の文献とのリンク 情報や校異等) の4層構造。

☆二十一代集・正保版本
国文学研究資料館データヘイス古典セレクション
古今和歌集から新編古今和歌集までの勅撰和歌集の検索が可能。正保版本の全頁 (全上) の画像を収録しているため、異体字なども確認できます。
CD-ROMの利用はカウンター中央部分で受け付けています。